

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	老人福祉センター 倉敷市西岡荘
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖180 名称 社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 山崎 要
(3) 公の施設の所管部署	健康福祉部健康長寿課
(4) 評価対象期間	令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年2月8日に実施した立入監査の結果、良好な管理運営がなされていることが確認できた。 ・令和4年3月に実施したアンケート調査の結果、現行の指定管理者は、利用者から好感を持って受け入れられていることが確認できた。 ・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、計3回100日間の臨時休館や利用制限等を行ったことにより、利用者数が減少（前年度比73.5%）したものの、日々の施設管理においては、利用者の安全を第一に考え、マスク着用や三密回避等の基本的な感染対策に加え、入館時の検温、利用者名簿作成、部屋の人数制限、共有スペース・物品の消毒、大きな声を出す活動の制限等に取り組んでほか、健康体操など感染症対策を行った上で実施できる講座やレクリエーションを実施することなどにより一日当たりの利用者数が増加（前年度比102.9%）していることは評価できる。 ・以上の点から、評価対象期間において、社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団は適切に指定管理業務を遂行したと判断する。 	総合結果
		S
(2) 指定管理者の自己評価	地域の高齢者に対し各種の相談に応じるとともに、様々な講座や事業を実施して、学ぶ意欲に応え創作を楽しむ場を提供しました。	

今年度も新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大によって5月14日から6月20日まで休館し、その後、8月20日から9月30日、1月24日から3月6日の合計3回100日間が休館となりました。また、密を避けるため参加人数を抑制、手指消毒やマスク着用の励行などの感染予防対策を行い、運営を行いました。

コロナ禍の影響による休館や事業再開後の利用制限のほか、利用控えの傾向もある中で、延べ利用者数は減少していますが、開館日の1日あたりの来荘者数をみると、前年比102.9%と増加しています。

寿講座では、利用者の関心が高い健康体操を、健康増進講座「身体をととのえる教室」を昨年度に引続き実施したところ、好評でした。

創作活動では、感染予防対策と希望者全員の参加を両立させることを目指しましたが、定員を少なくしたものの、実施回数が増やせなかったことにより、希望者全員の参加には至らなかったものもありました。なお、今年度は、臨時休館に伴う休講講座については、振替で実施しました。

浴場開放事業は、感染予防対策のため、一度に利用できる人数を制限したうえで実施しました。

ふれあい事業では、施設内外の環境の美化を心掛け、利用者の方の安らぎが得られるよう取り組みました。加えて、地域貢献活動として近隣の清掃活動を行いました。

その他、ニーズが高いレクリエーション事業（3館交流ビリヤード大会）や演芸大会では、それぞれ関係者や実行委員会において、可能な限り実施できるよう協議をしましたが、感染予防対策が取れないほか、会場の確保ができないことなどにより、やむを得ず中止としました。なお、レクリエーション事業として、3館交流グラウンドゴルフ大会を開催しました。

感染予防対策として様々な制限をせざるを得なかったことにより、利用者からの不満があり、可能な限り対応しましたが、十分な解消に至っていません。

これからも、新型コロナウイルス感染症対策の動向を見ながら、多くの方に利用していただくため、利用者ニーズに沿った事業内容やサービスの充実に取り組むとともに、新規利用者の開拓に努めます。

(3) アンケート結果の概要	アンケート調査の結果,利用者の満足度は,施設全体は91%以上,職員対応は93%以上,施設の衛生管理は90%以上,安全対策は93%以上となった。よって,現在の指定管理者は,多くの利用者から好感を持って受け入れられていることが分かった。
----------------	--

2 施設の利用状況

(1) 利用者数	利用者数			特記事項
	今年度	前年度		
	11,047人	15,033人		
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) センターの使用許可に関する事務 (2) センターの維持管理に関する業務 (3) 高齢者の生活,住宅,身上等に関する相談ならびに指導業務 (4) 高齢者の疾病の予防,治療に関する相談ならびに指導業務 (5) 高齢者の生業および就労等の指導業務 (6) 高齢者の後退機能の回復訓練ならびに指導業務 (7) 高齢者の教養の向上およびレクリエーション等の事業 (8) センターの利用者の利便性を向上させるために必要な業務 			

3 収支（見込み）

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額		24,024千円
		市からの指定管理料	24,012千円
		その他の収入	12千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額		27,563千円
	主な支出	人件費	17,830千円
		光熱水費	1,601千円
		修繕料	327千円

	業務委託費	545千円
	その他	7,260千円